



発行所 秋田魁新報社
〒010-8601
秋田市山王臨海町1番1号
©秋田魁新報社 2020年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

電子版

www.sakigake.jp

モバイル

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、「秋田魁新報」電子版「さきがけMOBILE」をご覧ください。

「サキホコレ」

新品種米、名称決まる

県は17日、都内でイベントを開き、2022年度に市場デビューする県オリジナル新品種米・秋系821の名称が「サキ

ホコレ」に決まったと発表した。国内外から寄せられた約25万件の名称案の中から選考を進め、佐竹敬久知事が決定した。



新品種米の名称を「サキホコレ」と発表する佐々木希さん＝東京都内

都内のイベントには佐竹知事や県内農業団体の関係者、秋田市出身のタレント佐々木希さんらが出席。佐竹知事は名称について、稲には花があることに言及し「秋田の情景が想像でき、語呂もいい」と話した。

名称案は今年4～5月に県が公募。コメの名称応募件数としては全国最多の25万893件が寄せられた。

新品種米のブランド化戦略の総合プロデューサーを務めるデザイナー梅原真さん(高知県)と県が約20案まで絞り、8月下旬に県や農業団体などでつくる「秋田米新品種ブランド化戦略本部」の

名称選考部会で6案に絞り込んだ。

6案は▽秋(あき)うらら▽あきてらす▽秋(あき)の八(やち)二(に)▽稲王(いなおう)▽サキホコレ▽べっぴん小雪(こゆき)。この中から佐竹知事が決め、農林水産省に品種登録を申請した。

サキホコレは、本県オリジナル品種「つぶぞろい」と、愛知県が育成した「中部132号」を交配した新品種。「コシヒカリ」を超える極良食味品種」を目指し、県が14年度から開発に取り組んだ。白くつやのある外観、深い甘みや粘り、ふっくらとした食感が特徴で、県が高級ブランド米として売り出す。